

地球温暖化の防止

クボタグループは、その事業特性から地球温暖化の防止活動について生産段階に重点を置いた展開を行っています。2009年度からCO₂削減への取り組みを更に強化するため、新たに中期目標を定め強力に推進しています。

CO₂の削減

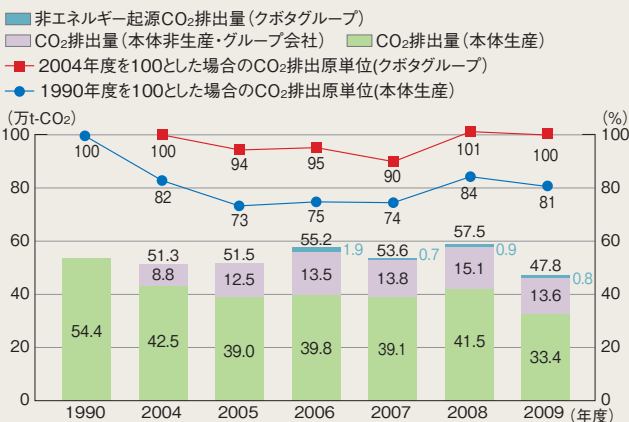
新・環境保全中期計画の活動テーマ → Plan 2009年度目標 → Do 2009年度実績 → Check 自己評価

2009年度の目標と実績	Plan 2009年度目標	Do 2009年度実績	Check 自己評価
● CO ₂ 排出原単位	● 2008年度比▲1%	2008年度比 ▲1.2%	◎
● CO ₂ 排出量	● 2008年度比▲1%	2008年度比▲17.0%	◎
● 物流CO ₂ 排出原単位	● 2008年度比▲1%	2008年度比 +1.0%	×

CO₂排出量

CO₂排出量は47.8万t-CO₂で、2008年度比17.0%減、CO₂排出原単位は2008年度比1.2%減で目標を達成しました。売上高が大幅に減少する中で、CO₂排出原単位(CO₂排出量÷連結売上高)を改善することができました。これは鋳物工場の生産量減少と、電気事業者のCO₂排出係数の改善が主な要因でした。なお、2009年度の省エネルギー対策としては、溶解炉における燃焼効率の改善や生産設備の待機電力削減等を実施しました。

CO₂排出量とCO₂排出原単位の推移



※2004年度以降は非生産事業所及びグループ会社を集計範囲に加え、対象事業所数を段階的に拡大しています。
※排出原単位=CO₂排出量÷売上高 (■-連結売上高 ●-単体売上高)

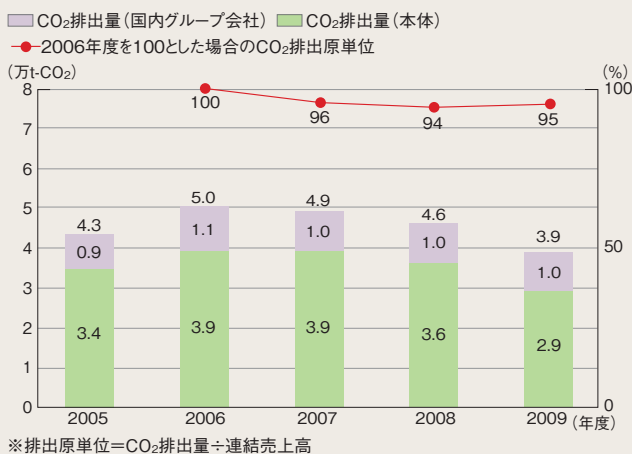
物流におけるCO₂排出量

(荷主としての貨物輸送量とCO₂排出量)

国内における荷主としての貨物輸送量は3.2億トンキロで、その貨物輸送によるCO₂排出量は3.9万t-CO₂となりました。

また、物流CO₂排出原単位は、2008年度比で1.0%増加し、売上高の減少に排出量の削減幅(▲15.1%)が追いつかなかったため目標は未達成となりました。

物流CO₂排出量とCO₂排出原単位の推移



※排出原単位=CO₂排出量÷連結売上高

WEB 「CO₂関連データ」「換算係数」の詳細は <http://www.kubota.co.jp/csr/report/r2010.html> をご覧下さい

実践レポート

阪神工場武庫川事業所における「打ち水」と「緑のカーテン」での温暖化防止活動

阪神工場武庫川事業所では、2009年8月2日から9月25日までの間、排水処理水を積んだ散水車が構内の主要通路を走行し、広範囲に「打ち水」を行いました。この取り組みは、2009年7月に行った打ち水において、水をまいたエリアで気温の低下と涼しい風が起ることが確認されたため、ヒートアイランド現象の更なる緩和をねらいとして実施しました。

また、6月の「環境月間」の行事の一環として配られたゴーヤの苗が、工場の各所で「緑のカーテン」に成長し、従業員の目を和ませていました。「緑のカーテン」は、真夏の日差しをさえぎることで、冷房負荷の低減による省エネや、緑が増えることによるヒートアイランド対策に効果を発揮しました。温度測定の結果、ゴーヤの日射部と葉陰では1~3℃の温度差があることが確認されました。すくすく育ったゴーヤは、夏バテ防止に効く食材としての活用も期待され、楽しい取り組みとして従業員の好評を得ました。今後も継続してゴーヤによる「緑のカーテン」を設置し、真夏を涼しく過ごせるようにと考えています。



散水の様子



緑のカーテン